



バンコク便り



1. はじめに

3月24日に約5年ぶりに民政へ移管するためのタイ議会下院総選挙（定数500人）が実施されました。まずは特段の混乱もなく終了し5月に行われる正式結果の発表を待っているところですが、バンコクの街中は普段と変わらない様子です。一方、4月はタイの正月であるソンクラーンがあり、長期休暇となります。水掛祭りや帰省者等により混雑が予想されるので、訪タイされる方は移動時間にはご注意ください。

2. 当地ビジネス情報

（タイのスマホ決済について）

以前も本誌でお伝え申し上げましたが、タイではスマートフォンを利用したキャッシュレス決済が進展しています。今では飲食店、屋台、タクシー等でも利用でき、割引やプロモーションを受けられる場所も多くなっています。小職も利用していますが当システムは、操作・決済が簡単、振込（他行宛含む）についても現時点では5,000バーツ（約17,500円）まで手数料無料となっており、非常に便利なシステムだと感じます。

小職が働くカシコン銀行でも決済用端末及びモバイルアプリの導入を積極的に推進しており、タイ国内の利用店舗が更に拡大している他、訪日タイ人観光客が日本全国のJCB加盟店でQRコード決済が可能となるシステムを構築中であるなど新たな取り組みが行われています。足下、日本でも消費税上げや東京オリンピック開催等を控え、キャッシュレス取引の推進について機運の高まりがみられますが、当該スマートフォンを活用した決済サービスは、消費者には手軽で便利、導入店舗にとっても管理効率化につながり且つ比較的投資負担が少ない等のメリットがあることから、今後も更なる普及・拡大が見込まれます。



カシコン銀行のモバイルアプリ

3. 現地トピックス

（ドン・キホーテ タイ1号店がオープン）

2月22日、総合ディスカウントストア「ドン・キホーテ」のタイ1号店となる「ドンキモールトンロー」がバンコクにオープンしました。アジア進出はシンガポールに次ぐ2カ国目となり、オープン直後の週末には入場規制がかかる程の大盛況でした。

生鮮食品や日用品販売の他、飲食、雑貨、化粧品等の専門店や屋内スポーツ施設等のテナントが入居し、ジャパングオリティの商品やサービスを提供する総合アミューズメントモールとなっています。連日大盛況の様相ですが、特に日本産イチゴはタイ人に大人気でした。また納豆3パックが39バーツ（約136円）、カップ焼きそばが59バーツ（約206円）など身近な商品が他店と比べても安く、調味料等の種類も豊富と現地在住日本人の間でも評判になっています。バンコクの新たなショッピングスポットである当店の取り組みには、消費者としても注目していきたいと思います。



店頭の焼き芋販売の行列

【本件に関する連絡先】 地方創生部 海外業務 G 石井・榎 023-626-9050
【作成協力】 カシコン銀行日系金融法人チーム（在バンコク）